

スポーツボランティア・ 上級リーダー養成研修会

1日目



日本スポーツボランティアネットワーク

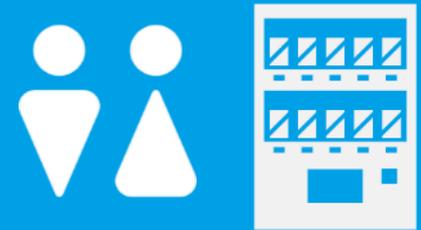
会場の諸注意



マナーモード
設定



写真撮影
SNSへの掲載



トイレ・自販機

スケジュール

1日目

区分	時間		内容
事務連絡	10:00	10:10	
講義1	10:10	11:05	スポーツボランティア・上級リーダーとは
-	11:05	11:15	休憩
講義2	11:15	12:25	リーダー経験を振り返る
-	12:25	13:25	昼休憩
講義3	13:25	14:30	話し方の基本
講義4	14:30	15:40	国内スポーツとスポーツボランティア団体の現状（途中休憩あり）
講義5	15:40	16:25	1分間スピーチ
事務連絡	16:25	16:30	



講義1

スポーツボランティア・上級リーダーとは



開催目的

1

知識・経験が豊富なスポーツボランティア・リーダーが、スポーツ現場の充実に不可欠であることを理解する

2

多様なスポーツ現場で、リーダーシップを発揮するために必要な知識と能力を身につける

3

ボランティアメンバー、他のリーダー、主催者を適切にサポートできるボランティア・リーダーの重要性を理解する

ボランティアメンバーやボランティア・リーダーを導く
模範（ロールモデル）として活躍するために
必要なスキルと心構えを養う



3アクション・3ルール

3ルール

- 主体的
- アウトプット
- 共感

3アクション



話す



聴く



拍手

自己紹介・アイスブレイク



JSVNが考えるスポーツボランティア・リーダーとは

役職

肩書

権限

スポーツボランティアの現場で活躍するリーダー

役割

1-1. 上級リーダー養成研修会の経緯

スポーツボランティア・上級リーダーは、スポーツの現場をさらに発展・充実させるとともに、社会におけるスポーツボランティアへの理解を深めるための人材を育成するライセンスである。

スポーツボランティア・リーダーが、高度なリーダーシップを発揮し、さらに多様な現場で活躍できる人材となることを狙いとする。

自らのスポーツボランティア・リーダーの経験をもとに他のリーダーの模範となる「**上級リーダー**」を養成することで、**スポーツ行事の円滑な運営のみならず、全てのスポーツ活動に貢献することを目指すものである。**

スポーツボランティア・上級リーダーは、他のリーダーやボランティアメンバーの“模範（ロールモデル）”になることが期待される。
『模範となるリーダー像』に必要な要素はどのようなことか。

(例)

1 状況に応じて臨機応変に対処する適応力があるか。

2 役割を完遂しようとする責任感があるか。

3 他人から信頼される人物か。

上級リーダーを目指す際は、各自が理想とするリーダー像を描く。そして、そこに近づくための要素を挙げ、身に付けるための手法を考える。

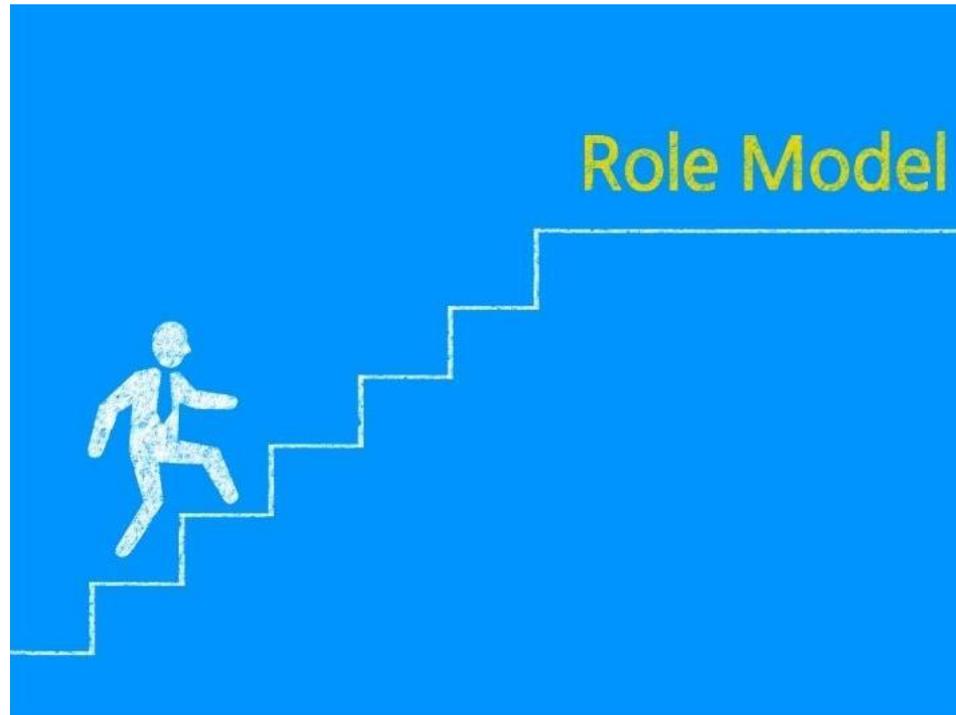
私が描く“理想のリーダー像”

- ①私が描く理想のリーダーとは？
- ②それに必要な要素を3つあげる

個人ワーク
3分間

発表
1分間

スポーツボランティア活動におけるリーダーの模範となること。
つまり、「**リーダーの中のリーダー**」である。
物事を幅広く、深く、厚く考え、日々研鑽を積むことが求められる。



上級リーダーが
活躍すると…

- イベントやクラブ・団体の活動の円滑化
- スポーツボランティア活動全般にわたる
充実・発展
- 競技者の技術および競技力向上

スポーツ活動全体の発展・向上につながる



休憩



講義

講義2

リーダー経験を振り返る



経験の振り返り

レポート 読む

スポーツボランティア・リーダー研修会で、提出した「スポーツボランティアとしての行動目標を」レポートを読み返す。

振り返り (個人)

レポートを読み、以下3点について振り返る。

- ①GOOD（良かったこと）
- ②BAD（悪かったこと）
- ③NEXT（改善したいこと）

発表 (グループ)

振り返った内容をグループで発表する。

- ①GOOD（良かったこと）
- ②BAD（悪かったこと）
- ③NEXT（改善したいこと）
- ④振り返りをしてみての感想



3-1. スポーツマネジメントの導入と活用

主催者や顧客の要望に応える発想からスポーツマネジメントを活用する。

ルールや取り決めに理解した上で、**その環境にいる人たちが楽しめる状況を発案する**などの役割も上級リーダーの活動範囲と捉えたい。

3-2. 仲間づくりの弊害例

スポーツボランティア活動における仲間づくりは、とても素晴らしいが、気が付かないうちに周りに壁を作ってしまうなどの弊害もある。活動内容や場所を固定化せず、**多くの人と触れ合う環境を作り続ける**ことも必要である。



活動や役割を2～3年ほどの単位で入れ替えることが挙げられる。

その活動や役割を一時期離れることで、気持ちをリフレッシュでき、新たにスポーツボランティア活動に臨むことができる



グループワーク

自らが経験したスポーツボランティア活動の中で「仲間づくり」と「仲間づくりの弊害」について、以下の2点をグループで話し合ってください。

- ①仲間同士の結束を強めるための工夫
- ②新しいメンバーを受け入れる際の工夫

グループワーク



4-1. スポーツボランティア・リーダーおよび上級リーダーの心がけ

1

一人での決断が求められる

孤独的環境と責任を覚悟

2

対人コミュニケーションは
平等に

偏りのある指示はNG

3

情報の取り扱いに注意

特に個人情報

4-2. スポーツボランティアグループの運営・管理

メンバーを見極めて「リーダーまたはサブリーダー」の起用

メンバーを名前呼び、感謝の言葉をかける

4-3. ボランティア団体であることへの理解

長年、会社組織や団体組織に属した方は、組織体制をボランティア団体に持ち込む方がいる。ボランティア団体は、「気持ち」や「志」が先にあり、十分な予算がない団体が大半である。このことを理解していただく必要がある。



休憩



講義3

話し方の基本



2-1. 話し方の基本

スポーツボランティア活動に必要な「話し方」として最も重要な要素は、正確に伝達することである。

- できるだけ短く明快な文章
- 適切な言葉の質、音量

ここにプラスアルファを加えることで、相手によい印象を与え、より話が伝わりやすくなり、活動がスムーズになる。

プラスアルファ の例として

1. どんな場面での「話し方」なのかによって、話し方を変える
2. 自己紹介での「話し方」を大切にする

朝のミーティング

スポーツイベントで、あなたはボランティア・リーダーを務めます。

集合時間になり、チームのメンバー全員が集まりました。

あなたはリーダーとして、5分間のミーティングをします。



条件

1. 所要時間は**5分間**
2. チームはあなたはを含めて**4人**
3. メンバー同士は**初対面**
4. チームが担当するのは「**フォトスポットで待機列の整理と写真を撮る**」活動
5. 活動時間は**10時～15時**
6. 昼食は控室にお弁当があります（主催者が用意）

まずは、ミーティングの5分間をどのように使うか
個人で考えてみましょう。

例えば・・・

あいさつ・自己紹介

活動内容、目的・目標

シフト

笑顔（自分・メンバー）

メンバー全員が1回は話した

ワクワク感が出たか



ブリーフィングの5分間をどのように使うか考える。

条件

1. 所要時間は**5分間**
2. 活動時間は**10時～15時**
3. チームはあなたはを含めて**4人**
4. メンバー同士は**初対面**
5. チームが担当するのは「**フォトスポットで待機列の整理と写真を撮る**」活動
6. 昼食は控室にお弁当があります（主催者が用意）

内容例

あいさつ・自己紹介

活動内容、目的・目標

シフト

ポイント

笑顔（自分・メンバー）

メンバー全員が1回は話した

ワクワク感が出たか



- ・ 4人1組になります。
- ・ 1人ずつ、リーダー役をします。(5分間)
※他の方は、時間計測にご協力ください
※可能ならば、発表者の携帯を借り動画を撮影。
- ・ メンバーから感想 (3分間)



講義 4

国内スポーツとスポーツボランティア団体の現状



2. スポーツ関連の法律変遷とスポーツボランティアについて (10P参照)

2-1. スポーツに関する法律等の流れ

1961年	スポーツ振興法	東京オリンピック開催(64年)を視野に入れ制定
1998年	スポーツ振興投票の実施等に関する法律	サッカーくじに関する法律 (Jリーグ開幕は93年)
2000年	スポーツ振興基本計画	スポーツに関する初の基本計画
2010年	スポーツ立国戦略	「する人」「観る人」「 支える人 」の重視を明記
2011年	スポーツ基本法	スポーツ権や障害者のスポーツが明文化
2012年	スポーツ基本計画	スポーツボランティアが計画の14か所に明記。
2015年	スポーツ庁の設置	初代長官は五輪金メダリストの鈴木大地氏
2017年	第2期スポーツ基本計画	東京2020大会等を契機としたボランティア人口の増加に言及
2022年	第3期スポーツ基本計画	現在の社会状況に沿った新たなスポーツの価値を高めるべく、東京大会のレガシーの継承・発展に資する重点施策、新たな3つの視点の2本柱



スポーツ立国戦略の目指す姿

新たなスポーツ文化の確立

スポーツは、私たちの「こころ」と「からだ」の健全な発達を促し、人生をより充実したものとするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与する世界共通の人類の文化の一つである。

スポーツはその活動自体、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえ、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすという内在的な価値を有する。このため、生涯にわたり主体的にスポーツに親しむことのできる地域社会をつくることは幅広い世代の人々にとって大きな意義のあるものである。

また、スポーツは社会的に多様な意義を有しており、少子高齢社会を迎え、様々な課題に対峙しなければならない我が国にとって、スポーツの振興は、従前にも増して国や地方公共団体、スポーツ団体の重要な責務となっている。

第3期スポーツ基本計画（2022年4月～2027年3月）

第3期スポーツ基本計画は、『東京オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの発展』に向けて、特に重点的に取り組むべき施策を示すとともに『新たな3つの視点』について施策が示されています。



スポーツ庁は、第3期スポーツ基本計画を策定しました！

<https://sports.go.jp/movie/3-2.html>

第3期スポーツ基本計画（2022年4月～2027年3月）

東京オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策



持続可能な国際競技力の向上



共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進



スポーツを通じた国際交流・協力



大規模大会の運営ノウハウの継承



地方創生・まちづくり



スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保

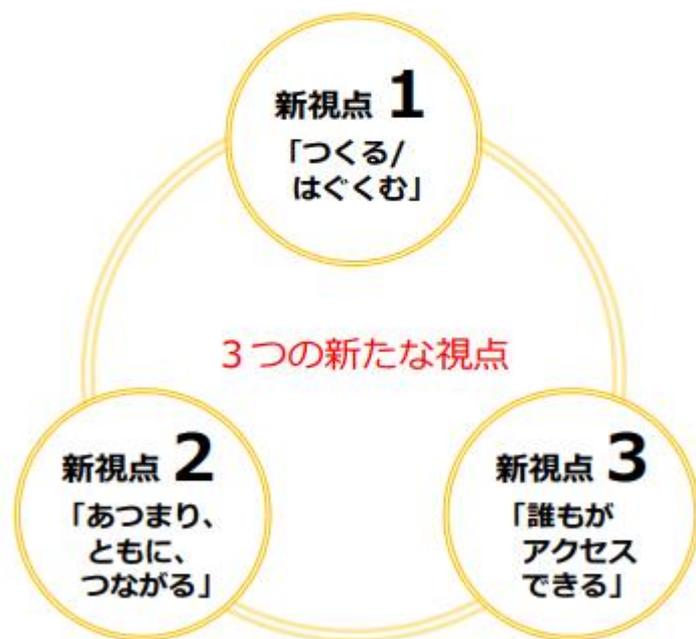
出典：スポーツ庁第3期スポーツ基本計画の概要（詳細版）より
https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_2.pdf



第3期スポーツ基本計画（2022年4月～2027年3月）

■中長期的なスポーツ政策の基本方針と
第3期計画における「新たな視点」

中長期的な基本方針を踏襲しつつ、
第2期計画期間中に生じた社会変化や出来事等を踏まえると、
国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すには、
以下の**3つの新たな視点が必要**



3つの新たな視点は、それぞれが完全に
独立したものとして捉えるのではなく、
相互に密接に関係しあう側面があることに留意。

1. 「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みに
とらわれずに柔軟に見直し・改善し、
最適な手法・ルールを考え、作り出す。

2. 「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した
人・組織があつまり、
課題の対応や活動の実施を図る。

3. 「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違いに
よって、スポーツ活動の開始や継続に
差が生じないような社会の実現や
機運の醸成を図る。

13

出典：スポーツ庁第3期スポーツ基本計画の概要（詳細版）より

https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_2.pdf



「地域における文化」としてスポーツの定着例

南魚沼グルメマラソン

■ 開催地

新潟県南魚沼市浦佐

■ イベントの特徴

会場に、魚沼の美味しい食材を使った「グルメ村」を開催。参加賞の「南魚沼コシヒカリ食べ放題」と「グルメ村お食事券」と一緒に南魚沼の"うんめえ〜"を満喫。

■ 大会を支えるボランティア



「南魚沼グルメマラソン BLOG」より <http://blog.livedoor.jp/koshihikari123/archives/54525024.html>

Q

スポーツボランティア団体には、

どのような団体があるか？

?

- 任意団体（法人格なし）
- 特定非営利活動法人
- 一般社団法人、公益社団法人
- 一般財団法人、公益財団法人
- 株式会社

法人格の種類	団体名	活動内容
任意団体 (法人格無し)	スポーツボランティア 東京	子供たちのスポーツ・レクリエーション大会やイベントの支援を行っている。
特定非営利 活動法人 (NPO)	日本スポーツボランテ ィア ・アソシエーション	スポーツイベントの支援だけではなく、助成金を得てボランティアの育成も行う。
公益財団 法人	スペシャル オリンピックス日本	4年に1度（夏季・冬季を2年おきに）のスポーツ全国大会を開催する。運営はボランティアが行う。
株式会社	川崎フロンターレ	Jリーグのチームを支えるボランティア。地域のイベントでも活動。



任意団体 (法人格を持たない)

- 同じ目的を持つ人たちの集まり
- 会則を作って活動している場合もある
- “組織”としての合意が必要ない、活動内容に制限もない

法人格を持つと…

- 団体名による契約や登記が可能
- 資金調達が容易
- 責任の所在が任意団体と比べ明白
- 官公署から事業委託・補助金が受けやすい

	特定非営利 活動法人 (NPO)	一般社団 法人	一般財団 法人	株式会社
設立手続き	諸官庁の認証と登記	登記のみ	登記のみ	登記のみ
設立時資金	不要	不要	300万円以上	資本金制度
設立者	正会員10人 理事3人 監事1人以上	社員2人以上 理事1人以上	理事3名以上 監事1名以上 評議員3名以上	株主、取締役 各1名以上
事業目的	非営利活動が主な目的	公益社団法人・公益財団法人 と違い、公益性は問われない		制限なし
税制優遇	原則非課税 収益事業は課税	原則なし		原則なし



休憩



講義 4

スポーツボランティア団体の現状について



スポーツボランティア組織の活動内容および活動規模① (5P参照)

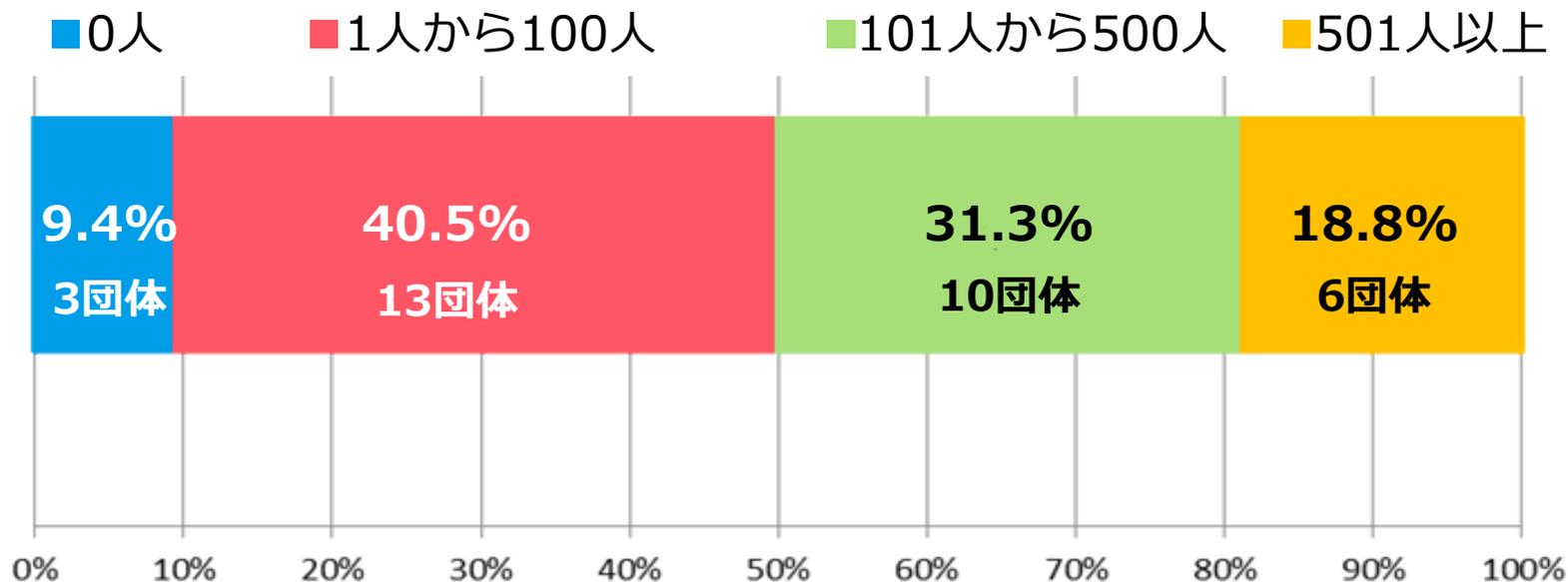
スポーツボランティア組織の活動内容 (複数回答、29団体が回答)

1. イベント、大会の運営補助	イベント・大会の運営補助	86.2%
	イベント・大会の指導者・審判	55.2%
2. クラブ等、スポーツ組織の運営補助	クラブ等のスポーツ組織の運営補助	24.1%
	クラブ等の指導者・審判	20.7%
3. ボランティアの育成	ボランティア講習会の開催	51.7%
4. スポーツボランティア募集情報の発信	スポーツボランティア募集情報の発信	44.8%

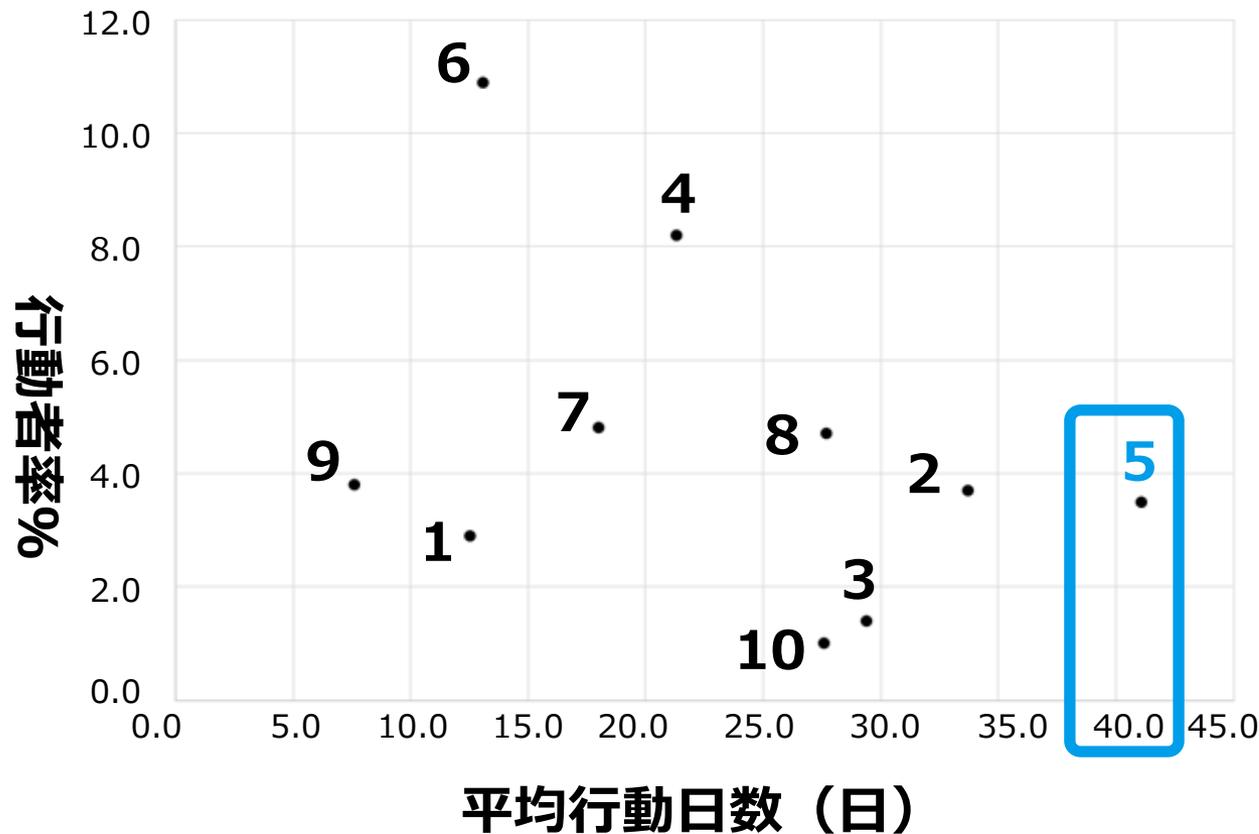
出展：笹川スポーツ財団 スポーツボランティア団体に関する調査 2011年度調査



スポーツボランティア登録者数 (32団体が回答)



出展：笹川スポーツ財団 スポーツボランティア団体に関する調査 2011年度調査

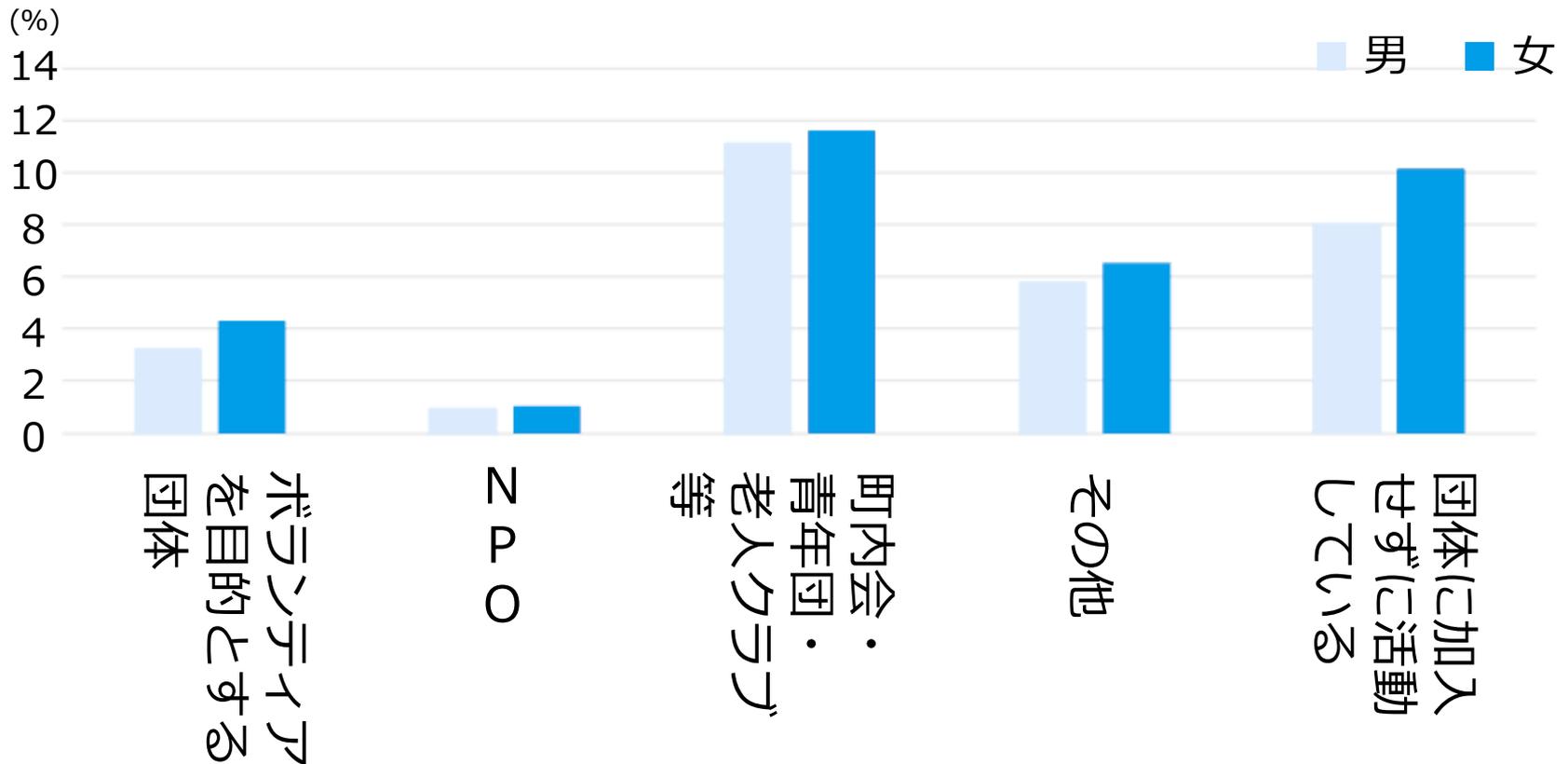


1. 健康や医療サービス
2. 高齢者を対象
3. 障害者を対象
4. 子供を対象
- 5. スポーツ・文化・芸術・学術**
6. まちづくり
7. 安全な生活
8. 自然や環境を守る
9. 災害
10. 国際協力

総務省統計局 ボランティア実施状況調査 平成23年より 「男女、ボランティア活動の種類、頻度・活動の形態別行動者数、平均行動日数、1日当たりの平均時間及び行動者率」

男女「ボランティア活動」の形態別行動者率

(7P参照)



総務省統計局 ボランティア実施状況調査 平成23年より 「男女、ボランティア活動の種類、頻度・活動の形態別行動者数、平均行動日数、1日当たりの平均時間及び行動者率」

ボランティア活動をする人の70%が団体に加入して活動している



国		行政／社会
アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民教育の場 ・ 同時多発テロ、ハリケーン災害によって、ボランティア参加への意識が高まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非営利団体への税制優遇 ・ 表彰制度
<p>ボランティアセンターやHPによってマッチングが充実</p>		
スウェーデン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民の9割がボランティア組織に参加している ・ ただし、間接ボランティアとしての活動 	<p>公的サービスが充実しているため、直接ボランティアの活動余地が少ない</p>
<p>個人のライフスタイルや経験、専門知識を生かした活動をしている</p>		

講義5

1分間スピーチ<準備>



2. スピーチ、プレゼンの仕方

研修会2日目に1人ずつ、1分間スピーチをおこないます。

お
題

“スポーツボランティア・リーダーの 魅力”

スポーツボランティア経験はあるが、まだリーダー経験がない人に、「やりがい」や「魅力」を1分間で伝えてください。

① 身なりを整える

話す内容を考えることばかりがスピーチの準備ではない。スピーチにふさわしいなりを整えることも非常に重要である。

③ 主張・論点を明確にする

「話すテーマは何か?」「その中で最も伝えたいメッセージは何か?」を明確にしておくことは重要である。

④ 聞き手の立場に立つ

自分の話したいことより、聞き手は何に興味があるのかという視点で「最も伝えたいメッセージ」を選択することにより、聞き手の心をつかむことができる。

⑦ 動作まで練習する

話の展開に合わせて身振り手振りを入れる、話題が展開する時に立ち位置を変える等の動作をスピーチに加え、それも練習しておくことで、スピーチに立体感が出る。

⑨ 繰り返し練習する

スピーチ成功のために、練習をしっかりとすることに勝ることはない。特に冒頭を入念に練習するといい。冒頭でよい流れをつくることができればそのあとはスムーズに流れる。



まずは、練習をしてみましょう！

1. 個人ワーク（原稿づくり、7分間）
2. グループワーク
 - ① 発表（1分間）
 - ② 感想（3分間）



事務連絡



スポーツボランティア・ 上級リーダー養成研修会

2日目



日本スポーツボランティアネットワーク

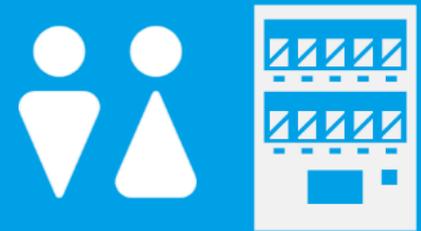
会場の諸注意



マナーモード
設定



写真撮影
SNSへの掲載



トイレ・自販機

スケジュール<2日目>

2日目

区分	時間		内容
事務連絡	10:00	10:05	
講義6	10:05	11:05	リーダーシップ
-	11:05	11:15	休憩
講義7	11:15	11:55	ボランティア活動における課題
-	11:55	12:55	昼休憩
講義8	12:55	13:55	1分間スピーチ
-	13:55	14:00	休憩
講義9	14:00	15:10	イベントの企画・ボランティアマネジメント
-	15:10	15:15	休憩
講義10	15:15	16:20	理想のリーダー像に向かって
事務連絡	16:20	16:30	事務連絡



3ルール

- 主体的
- アウトプット
- 共感

3アクション



話す



聴く



拍手

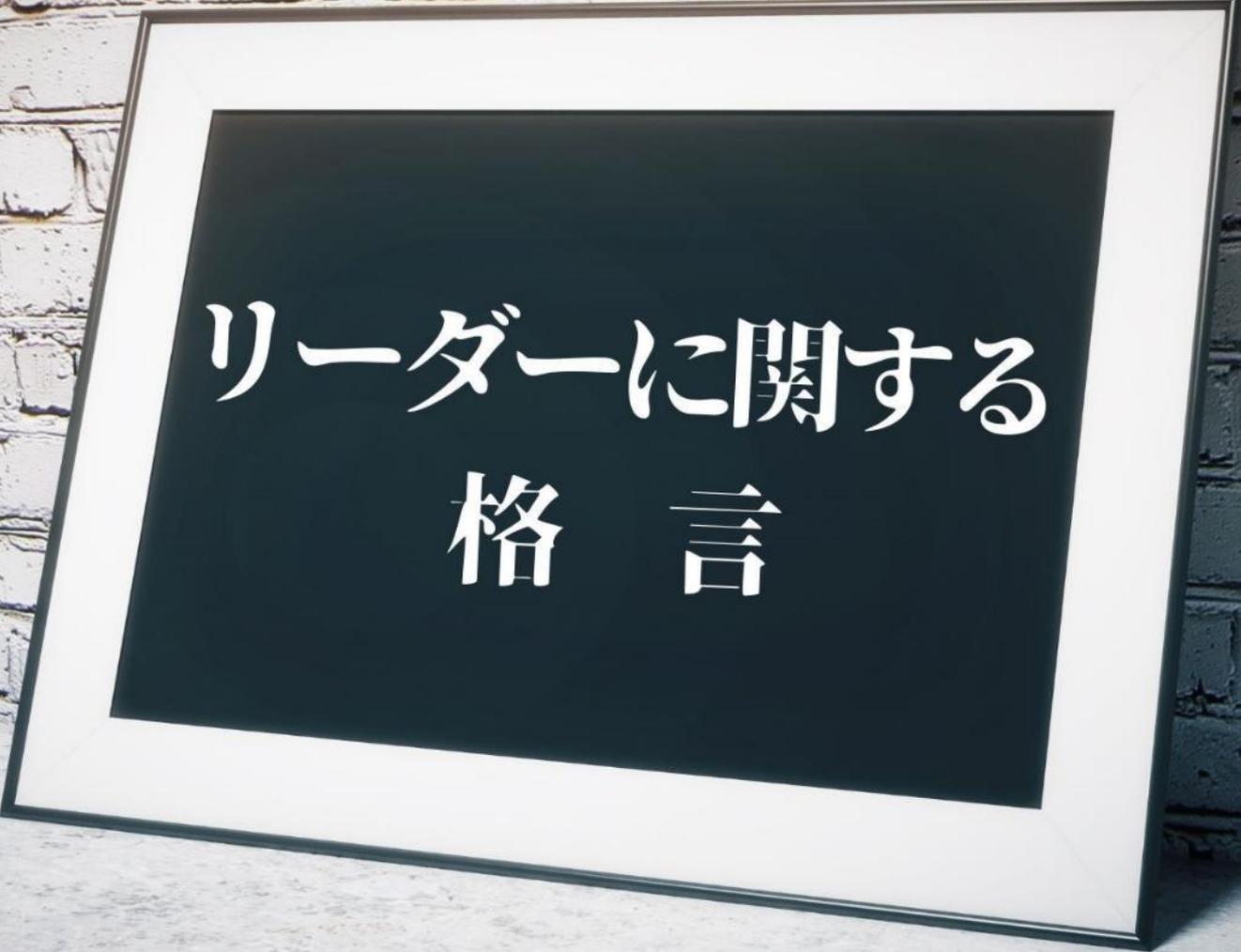
講義6

リーダーシップ



アイスブレイク





リーダーに関する
格言

<p>1. リーダーとは「希望を配る人」のことだ。</p> <p>ナポレオン・ボナパルト</p>	<p>6. リーダーは、ほかの人があとから同じことが出来るように先に行って、結果を生み出す</p> <p>アンソニー・ロビンズ</p>
<p>2. リーダーとボスの違いは何かと問われれば、リーダーの仕事は開かれているが、ボスの仕事は隠されている。リーダーは導くが、ボスは強いる。</p> <p>セオドア・ルーズベルト</p>	<p>7. 人を動かして説得しようとするものは、おのれがまず感動し、おのれを説得することから始めなければならぬ。</p> <p>トーマス・カーライル</p>
<p>3. 人を動かすことのできる人は、他人の気持ちになれる人である。その代わりに、他人の気持ちになれる人というのは自分が悩む。自分が悩んだことのない人は、まず人を動かすことはできない。</p> <p>本田宗一郎</p>	<p>8. 優れたリーダーとは、優秀な才能によって人々を率いていくだけの人間ではない。率いられていく人々に、自分たちがいなくては、と思わせることに成功した人でもある。</p> <p>塩野七生</p>
<p>4. 人間は本来働きたいもの。働くことをじゃましないことが、一番うまい人の使い方である。</p> <p>松下幸之助</p>	<p>9. 2年間、人に好かれようと努力するよりも、2か月間、人を好きになったほうがずっと多くの友を得られるだろう。</p> <p>D・カーネギー</p>

Q

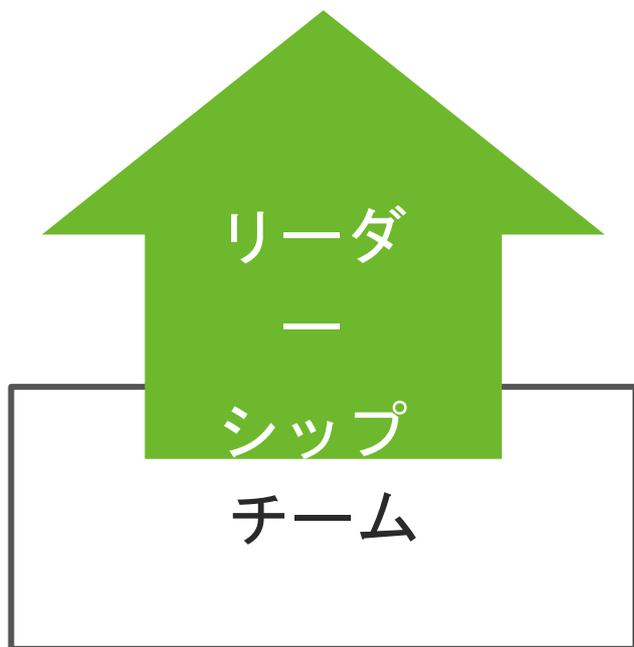
リーダーに関する格言の中から、最も好きな格言を1つ選び、その理由とともにグループ内で発表してください。



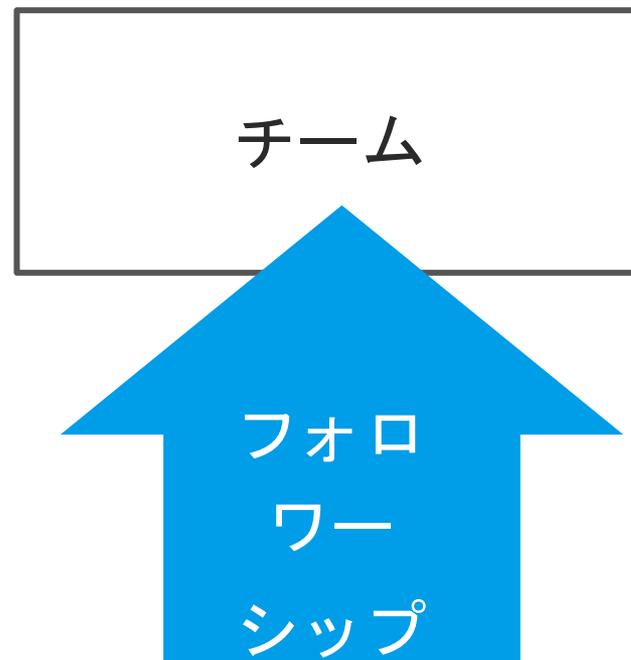
グループワーク



リーダーシップとフォロワーシップ



チームを**引っ張る**



チームを**ささえる**

リーダーシップ

リーダーシップを「チームを『引っ張る』働き」ととらえ、役割や権限に関係なく、全ての人が発揮すべきもの



一人ひとりが、自分は何をするためにそこにいるのか、そのために何をしなくてはならないのかを考え行動することこそがリーダーシップ。
自ら志し、能動的に行動する、といったボランティアの本質と同様。

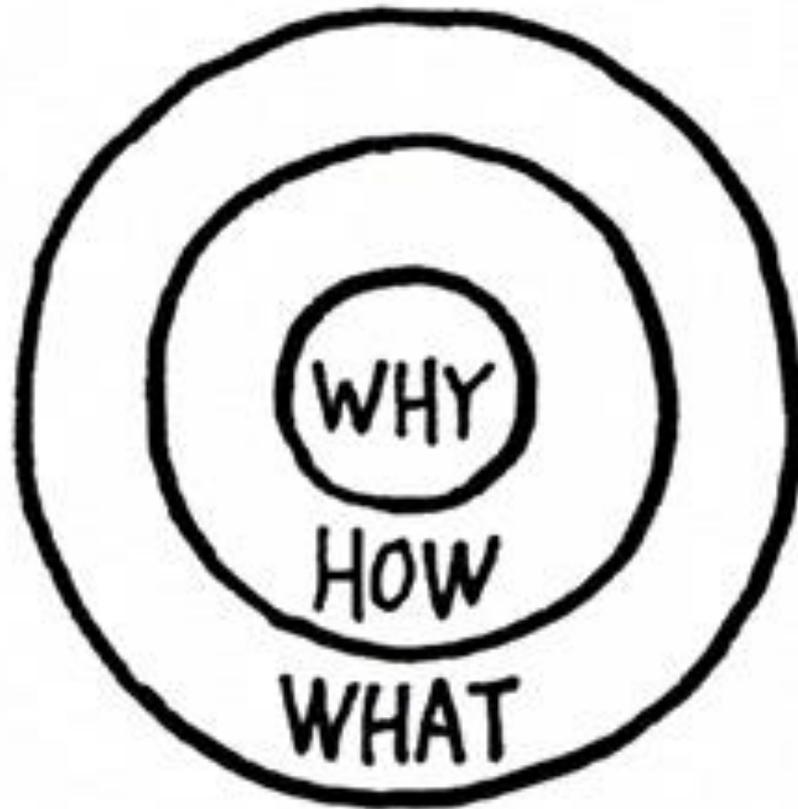
フォロワーシップ

フォロワーシップを「チームを『ささえる』働き」と考え、リーダーシップと同様に役割や権限に関係なく、すべての人が発揮すべきもの



メンバーが、リーダーのサポートはもちろんのこと、チームの雰囲気を変えるためにほかのメンバーを鼓舞することや、メンバー同士の声かけなど。これらの活動によりチームがより機能する。

人はどうして動くのか



講義7.

ボランティア活動における課題



ボランティア団体の 抱える課題

- 登録者の高齢化
- リーダーの不足

リーダーが 抱える課題

?

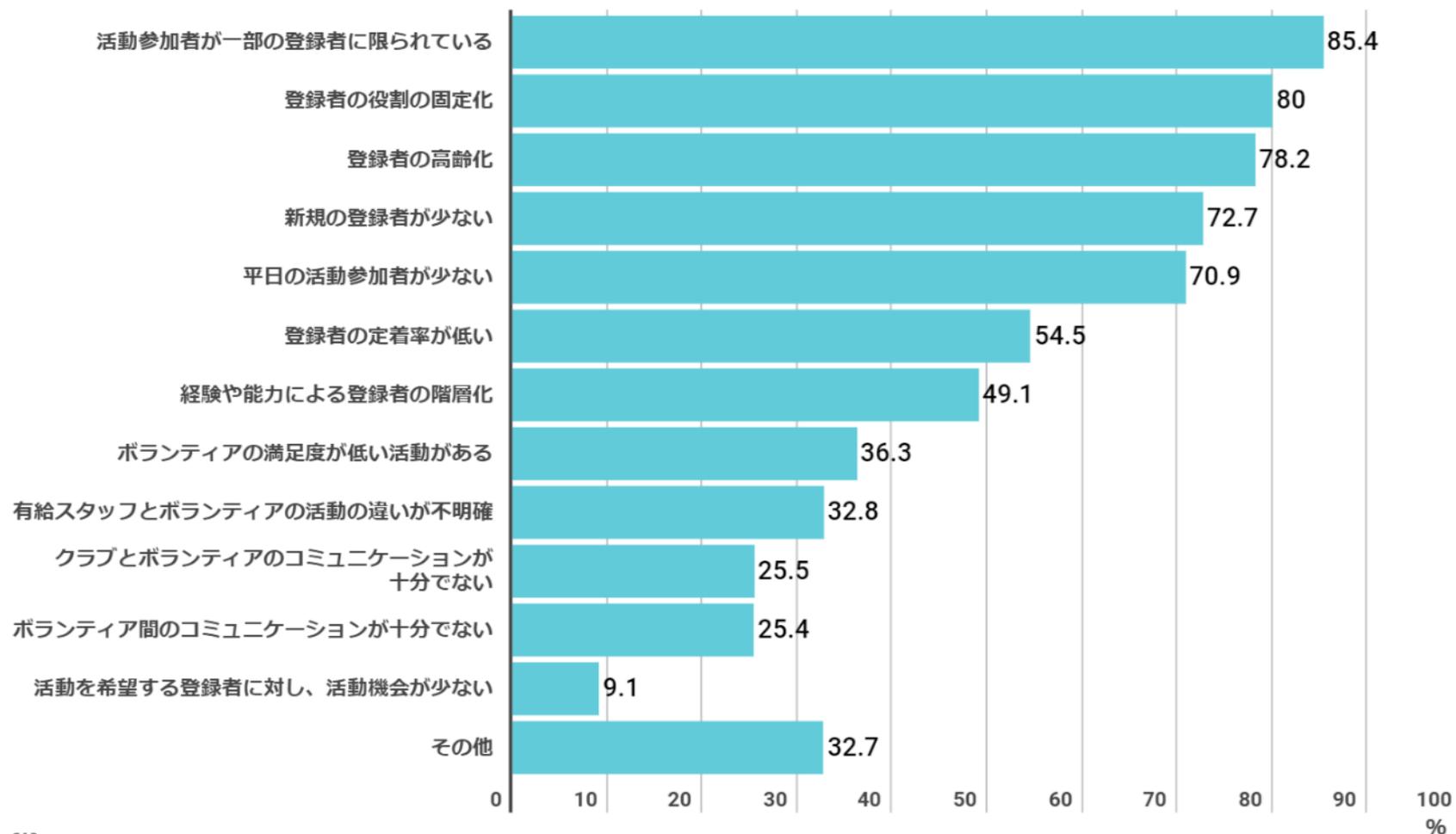
ボランティアが 抱える課題

- 時間がない
- 自分に何ができるか分からない
- どんな活動があるか分からない
- 参加するきっかけがない



Jリーグクラブボランティア ホームゲーム運営等におけるボランティアの課題

[n=55]



[Download data](#)

笹川スポーツ財団「Jリーグクラブのボランティアに関する調査」(2019年)



Q

経験、年齢、性別、障害の有無などに関わらず
**誰もが参加しやすく、活動にやりがいと楽しみ
を感じられる環境**を創出するには、リーダーと
してはどのような行動を起こすか？

グループワーク



5 分間

発表



1 分間



なぜスポーツボランティアで ダイバーシティ & インクルージョンが重要なのか？

- ❑ 多様なメンバーとチームを作って活動する（ボランティアなかま）
- ❑ 活動の場面で多様な人と接する（選手、観客など）



多様なチームで活動すると、何が良いの？

- ❑ 多様な視点で物事をとらえ、考えることができる
- ❑ 得意なことを活かしつつ、お互いを補い合うことができる



ダイバーシティ & インクルージョンを体現するために
スポーツボランティア活動の現場で求められる

リーダーシップ・スキルは、

- 聴くこと（決めつけない）
- 観察と気づき

3-1. 過去の活動実績

スポーツボランティア活動のなかで、自分にはどんな活動が向いているのかという**自己判断**と、あの人は何に向いているかの**他己判断**が必然的に生まれる。

リーダーは、こうした判断により、他のボランティアを**適材適所**に配置する必要がある。

3-2. 性格の分類を把握する

適材適所の配置を考える際、その人が持つスキル以外に、それぞれの「**適性**」を把握し、活かす必要がある。

3-3. 総合判断での適材適所

■ 「**実績、スキル、適正、体力の4要素**」



講義 8

1分間スピーチ<発表>



1 minute Speech Presentation



講義9

イベントの企画・ボランティアマネジメント



4-1. イベントの企画

上級リーダーとして、最低限押さえておきたいイベント・行事の企画・運営の基本を紹介する。イベント成功への道には、様々な努力と工夫が必要不可欠であり、知識と経験がどこまで生かせるか等も把握しておきたい。

イベント・行事の企画・運営の基本

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① イベント企画・運営での課題 | ⑤ 恒例行事の考え方 |
| ② 行事の基本 | ⑥ 行事でのベネフィット |
| ③ 企画する | ⑦ 行事ターゲットはどこに |
| ④ 行事の多目的化 | ⑧ 行事計画の5W1H |

**スポーツイベントにボランティアは必要なの
か？**

4. イベントの企画・運営・反省

「ボランティアって大変だ」

イベントの1週間前から、キャンセルの連絡や配置換えに追われる

新規行事は予想が困難。

準備に追われ、直前までボランティアの情報を整理できない

ボランティアの満足感は？



4. イベントの企画・運営・反省

ボランティアアマネジメント演習

1. イベント概要

名称	第1回SO日本陸上大会
開催日	2022年12月●●日（日）
会場	港区桜田公園
来場者（予定）	<ul style="list-style-type: none">・選手団:25都道府県から約250名・観覧者:約250名・メディア 5社（新聞、テレビ）

2. 大会スケジュール

8:00～8:30	選手団到着、受付
9:00	競技開始
15:00	競技終了
15:30～16:00	表彰式、閉会式



4. イベントの企画・運営・反省

ボランティアマネジメント演習

3. 課題

会場の出入口での「案内・誘導」
ボランティアのマネジメント

4. 「案内・誘導」 の役割

- 来場者（選手・関係者など含む）の案内
- 不審者への対応（警備員へ伝える）
- 障害のある選手が単独で会場の外に出ないようにする
- 出入口は4か所



4. イベントの企画・運営・反省



4. イベントの企画・運営・反省



4. イベントの企画・運営・反省

ボランティアアマネジメント演習

■ 1グループ	5名程度
■ 検討時間	15分
■ 発表	話し合ったことをまとめて、全員で要点を発表する
■ 検討内容	<ol style="list-style-type: none">1. このイベントに必要なボランティア人数を算出2. 活動スケジュール3. 集合・解散、休憩、活動場所4. 具体的な活動内容5. ボランティアが充実感を得られる工夫



ボランティアマネジメント演習 回答事例

ボランティアマネジメント企画書

ボランティア名	会場の出入り口「案内・誘導」
---------	----------------

役割A	来場者の案内
役割B	不審者対応 選手の入退出

活動場所	シフト	開始	終了	時間	出入口1	出入口2	出入口3	出入口4	予備	計
ボラ人数	 A	7:00	14:00	7:00	10	8	8	8	8	42
	B	10:30	17:30	7:00	10	8	8	8	8	42
	 リーダーA	6:30	14:30	8:00	1	1	1	1	1	5
	リーダーB	10:00	18:00	8:00	1	1	1	1	1	5
	 エリアリーダーA	6:00	15:00	9:00	1		1			2
	エリアリーダーB	9:30	18:30	9:00	1		1			2
	 統括リーダー	6:00	18:30	12:30	2					2
	計				26	18	20	18	18	100

1分当たりの通過人数(ピーク時)

参加者数	選手団数	保護者	観客数	メディア	その他	計	出入口1	出入口2	出入口3	出入口4	予備	計
	250	250	250	50	200	1,000	63	63	63	63		2
							63	63	63	63		2
							63	63	63	63		2
							13	13	13	13		0
							50	50	50	50		2
							250	250	250	250		8



ボランティアアマネジメント演習 回答事例（配置）



ボランティアアマネジメント演習 回答事例

スケジュール

集合	7:00		
選手団到着	7:45		
受付開始	8:00		
競技開始	9:00		
小休止	A	10分	60分毎
小休止	B	10分	60分毎
昼休憩	A	11:00	12:00
昼休憩	B	12:30	13:30
観戦休憩	A	10:00	11:00
観戦休憩	B	14:00	15:00
競技終了	15:00		
選手退出	16:00		
養生	17:00		
解散	17:30		

具体的な活動内容

挨拶
 トイレ場所案内
駅までの道順案内
 競技時間説明
 コンビニ等の案内
 迷子案内

充実感施策

事前	競技マニュアル配布 世界記録集配布 Tシャツ配布 キャップ配布 ニックネームアクリルカード
当日	競技観戦 表彰式観戦 食事提供 飲料配布 スナック配布 記念写真ボード 選手との交流エリア設置
後日	感謝状後日送付 ピンバッジ進呈



講義10

理想のリーダー像に向かって



上級リーダーを目指す際は、各自が理想とするリーダー像を描く。そして、そこに近づくための要素を挙げ、身に付けるための手法を考える。

私が描く“理想のリーダー像”

- ①私が描く理想のリーダーとは？
- ②それに必要な要素を3つあげる

個人ワーク
3分間

発表
1分間

事務連絡



スポーツボランティア・リーダーの認定について

スポーツボランティア・上級リーダーの認定は

受講態度



レポート

で評価判定基準に則って判定する。

スポーツボランティア・上級リーダーとして、私の行動目標について（600～800字）

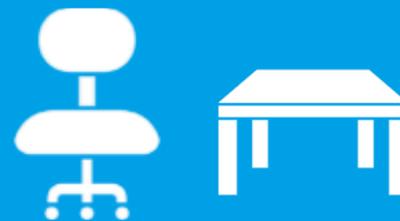
提出期限：●月●日（●）



アンケートへの
ご協力



認定証の送付
1カ月～2カ月後



その他

アンケートご協力をお願い



後日、メールにて**アンケートを送付**します。

本研修にご参加いただいたの感想や改善点などをお教えください。

今後の参考にさせていただきますので、ぜひご協力
よろしく申し上げます。

